

世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) (愛称:インフラX)

運用報告書(全体版) 第1期

(決算日 2021年6月21日)

(作成対象期間 2020年12月21日~2021年6月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	約5年間(2020年12月21日~2025年12月19日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「アリアンツ・NFJ・インフラストラクチャー・インカム・ストラテジー(クラスB)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のインフラ関連企業の株式等に投資し、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長によるトータルリターンを最大化をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入 比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1 期末 (2021年 6月21日)	円 11,576	円 0	% 15.8	11,865	% 18.6	% —	% 99.0	百万円 9,651

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

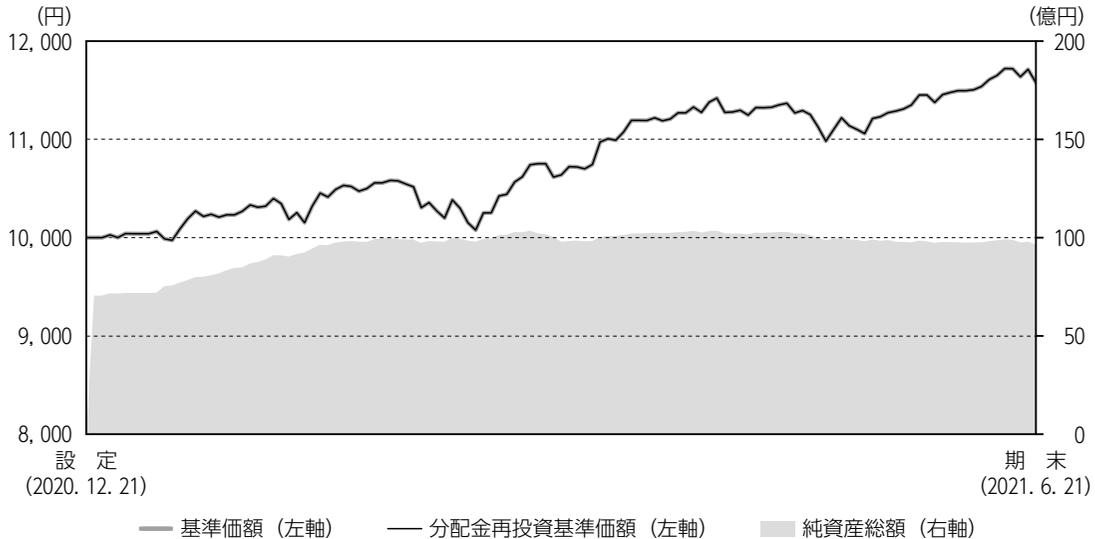
(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：11,576円（分配金0円）

騰落率：15.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有している株式が上昇したことや、為替相場が円安となったことから、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期首) 2020年12月21日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
12月末	10,040	0.4	10,046	0.5	—	99.0
2021年 1月末	10,254	2.5	10,331	3.3	—	98.3
2月末	10,271	2.7	10,722	7.2	—	98.2
3月末	10,991	9.9	11,287	12.9	—	98.7
4月末	11,351	13.5	11,718	17.2	—	98.7
5月末	11,452	14.5	11,888	18.9	—	98.5
(期末) 2021年6月21日	11,576	15.8	11,865	18.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 12. 21 ～ 2021. 6. 21）

世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、主要各国政府による大規模な景気刺激策や、新型コロナウイルスワクチン接種の進展を背景に、当作成期を通じておおむね上昇基調で推移しました。セクター別では、エネルギーや金融、不動産が上昇をけん引しました。一方で、公益事業や生活必需品、一般消費財・サービスなどは相対的に低調なリターンとなりました。国別では、カナダやフランス、英国などが堅調なパフォーマンスとなりました。一方で、中国や日本、ベルギーなどは相対的に低調なリターンとなりました。

為替相場

為替相場は円安米ドル高となりました。

米ドル円相場は、米国のバイデン新政権下での経済対策に対する期待や新型コロナウイルスワクチンの順調な接種進展、経済活動正常化への期待などを背景に、米国長期金利が上昇し、上昇（円安）しました。

ポートフォリオについて

（2020. 12. 21 ～ 2021. 6. 21）

当ファンド

当ファンドは、インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）とダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）への投資割合を高位に維持しました。

※インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）：アリアンツ・NFJ・インフラストラクチャー・インカム・ストラテジー（クラスB）

インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）

参考指数（S & Pグローバル・インフラストラクチャー指数）と比べ、セクター別では、情報技術や不動産などをオーバーウエートとしました。一方で、資本財・サービスやエネルギーなどをアンダーウエートとしました。

また、ポートフォリオ構築をおおむね完了した2021年1月月初と比べて、セクター別では、情報技術や一般消費財・サービスなどの組み入れを増やし、一方で、公益事業やヘルスケアなどの組み

入れを減らしました。

国別では、米国やフランスなどの組み入れを増やし、一方で、オランダやイタリアなどの組み入れを減らしました。

個別銘柄では、クラウドインフラ事業が売り上げと利益の伸びをけん引している AMAZON.COM INC や、ライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソフトウェアを提供している VEEVA SYSTEMS INC などの組入比率を増加させました。一方で、鉄道会社の KANSAS CITY SOUTHERN や、ナビゲーションシステムと G P S 技術を提供している GARMIN LTD などを売却しました。

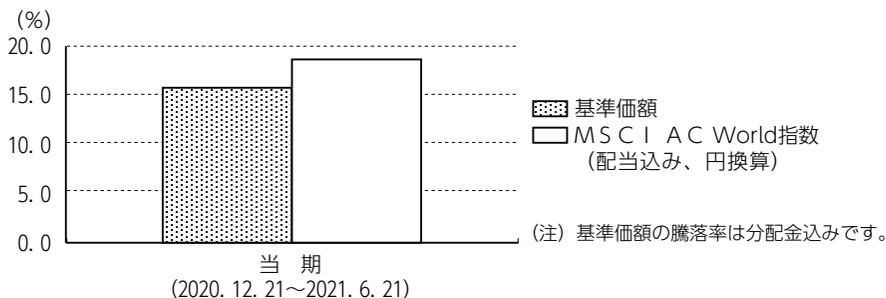
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったことから、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年12月21日 ～2021年6月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,576

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■ 当ファンド

引き続き、インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態では、インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ インフラ・インカム・ストラテジー（クラスB）

日本を含む世界の株式等の中から、伝統的インフラおよび新世代インフラに関連する株式および株式関連証券に分散して投資を行います。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 12. 21～2021. 6. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0. 510%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 799円です。
（投 信 会 社）	(18)	(0. 165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0. 331)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0. 514	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

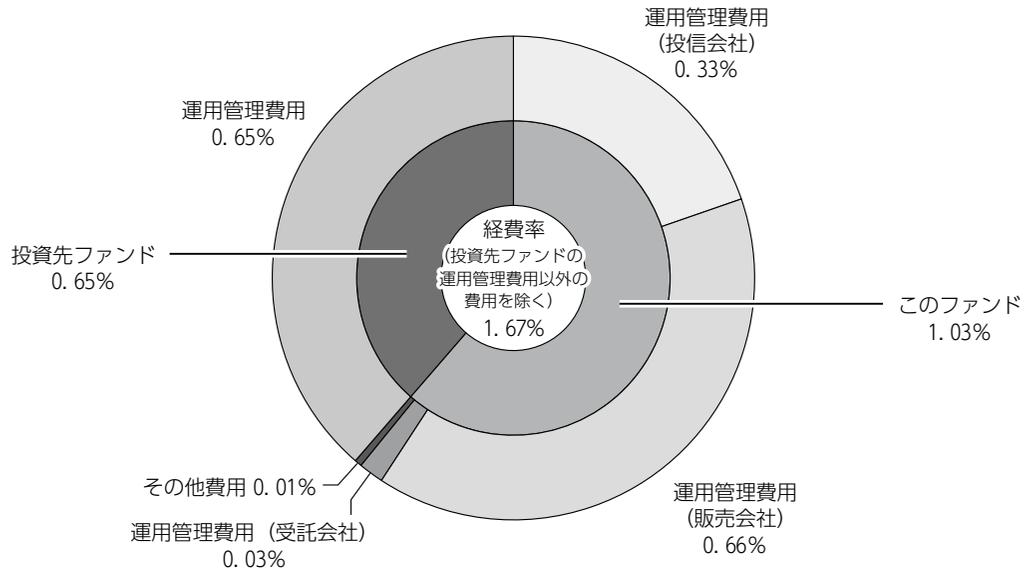
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.67%です。



経費率 (① + ②)	1.67%
①このファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2020年12月21日から2021年6月21日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	958.0365165	9,645,000	138.4066391	1,540,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年12月21日から2021年6月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	499	500	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年12月21日から2021年6月21日まで)

当 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CAYMAN ISLANDS OPEN-ENDED UMBRELLA UNIT TRUST ALLIANZ NFJ INFRASTRUCTURE INCOME STRATEGY CLASS B (ケイマン諸島)	958.0365165	9,645,000	10,067	CAYMAN ISLANDS OPEN-ENDED UMBRELLA UNIT TRUST ALLIANZ NFJ INFRASTRUCTURE INCOME STRATEGY CLASS B (ケイマン諸島)	138.4066391	1,540,000	11,126

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CAYMAN ISLANDS OPEN-ENDED UMBRELLA UNIT TRUST ALLIANZ NFJ INFRASTRUCTURE INCOME STRATEGY CLASS B	819.6298774	9,550,614	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	499	499

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,550,614	% 97.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	499	0.0
コール・ローン等、その他	299,855	3.0
投資信託財産総額	9,850,969	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,910,969,179円
コール・ローン等	239,855,028
投資信託受益証券（評価額）	9,550,614,202
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	499,950
未収入金	119,999,999
(B) 負債	259,626,143
未払金	60,000,000
未払解約金	150,957,340
未払信託報酬	48,277,459
その他未払費用	391,344
(C) 純資産総額（A－B）	9,651,343,036
元本	8,337,391,940
次期繰越損益金	1,313,951,096
(D) 受益権総口数	8,337,391,940口
1万口当り基準価額（C／D）	11,576円

* 設定時における元本額は7,048,945,596円、当作成期間中における追加設定元本額は4,448,236,286円、同解約元本額は3,159,789,942円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,576円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月21日 至2021年6月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,069円
受取利息	5,756
支払利息	△ 27,825
(B) 有価証券売買損益	1,190,967,041
売買益	1,438,169,551
売買損	△ 247,202,510
(C) 信託報酬等	△ 48,669,226
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,142,275,746
(E) 追加信託差損益金	171,675,350
（配当等相当額）	（△ 3,578）
（売買損益相当額）	（ 171,678,928）
(F) 合計（D＋E）	1,313,951,096
次期繰越損益金（F）	1,313,951,096
追加信託差損益金	171,675,350
（配当等相当額）	（△ 3,578）
（売買損益相当額）	（ 171,678,928）
分配準備積立金	1,142,297,815
繰越損益金	△ 22,069

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,142,297,815
(c) 収益調整金	171,678,928
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	1,313,976,743
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	1,313,976,743
(h) 受益権総口数	8,337,391,940口

アリアンツ・NF J・インフラストラクチャー・インカム・ストラテジー（クラスB）

当ファンド（世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「アリアンツ・NF J・インフラストラクチャー・インカム・ストラテジー（クラスB）」は、2021年6月21日現在、第1期決算を迎えておりません。

<補足情報>

当ファンド（世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年6月21日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年12月21日～2021年6月21日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年6月21日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

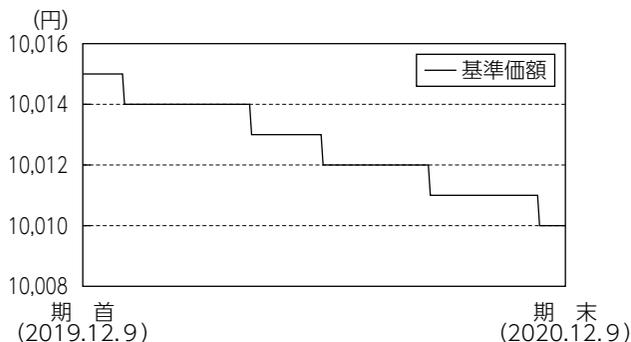
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボテック・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株式ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボテック・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボテック・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレバレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド (資産成長型) 998,802円、ロボテック・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース (-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース (-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボテック・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本ル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本ル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C+D+E+F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。